Baretta

the GazettE

「雨に濡れている向日葵達は二人の次を願って
見守るように…穏やかな顔で優しく咲いて 来る日を待つ」

水溜りを覗き君を浮かべ 今も傍に感じているよ
すれ違う中で君を叱った手が今でも痛い

君を連れて行く静けさが見せた
幸福とは呼べない走馬灯はきっと静止のあの日を忘れさせないため

聞こえるその声に寄り添えば ただ懐かしさに戸惑ってしまう
少しずつ溶け込んで思い出しあの日をまた映して欲しいと

「いかないで」と願った
あの日と同じ五月終わりの雨とさよならは
二度目の再会を濡らし揺らすの
そして全てが夢だと僕を笑うだろう

触れ合う指先で感じ合う 明日への不安は言葉にならない
ただ 抱き合うことよりも心にある二人の事実が消えぬ事を

ほんの少し だった夢のような日々 穏やか過ぎた最期の言葉に

「わすれないで」と願った
あの日と同じ 6月初めの雨上がりの空
二度目の別れを告げた太陽
そして全てが夢だと僕を笑った 果敢ない夢だと

君が残した「バレッタ」を見つめて 今日を生きる

Sponzor: www.srovnavac.cz - vyberte si pojištění online!